

相生 ^{デイ} サービス新聞

発行所
相生DS
44-4165



床屋 ^{さん}

にわかにあわただしく

師走の街は霧の朝でした。みどりの中橋が
幻想的に浮んでいました。しばらくすると
霧ははれ青空が広がってきました。

その空の下、

人々があわただしく行き交っていま
ました。

名歌

をりをりの
これやかぎりもいふ思ひ
そのあゆみをばしる人もなし

京極為兼



ご存知ですか 湯豆腐

京都南禅寺の
精進料理が起源と
言われている。
良質のこんぶをひいて、
大山阿夫利神社周辺
も有名です。

くらし歳時記

煤松い
すすはらい

江戸時代は

12月13日に
行なわれていた。
正月を迎える
準備として
掃除だけでなく
お清めの意味も。

今月の予定

- 4 (水) 笑いヨガ
 - 12 (木) 藤美会
 - 17 (火) 春さんと仲間たち
 - 18 (水) ささこいポパイ
 - 19 (木) 小林音楽
 - 21 (土) 田中音楽
 - 23 (月) リストラソング
 - 27 (金) 高瀬音楽
- ※おやつ作り

11(水)
19(木)
24(火)

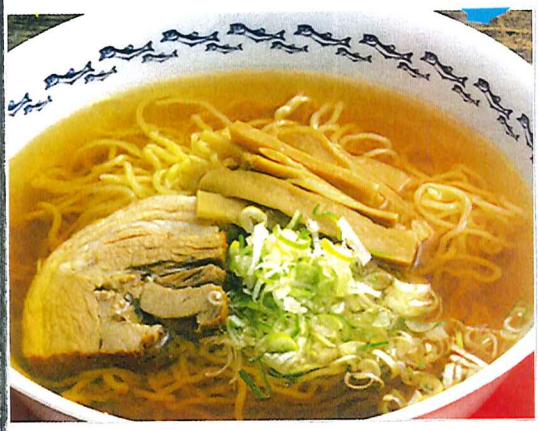


旬... ^{かき} (松島町)

鉄板の上のせ、フタを
して待つこと15分ぞ。



屋台のなつかしさ...



旅... ぶらり

下高井戸駅前の商店街。



ユーモアくらぶ

「おえ、あなた、
いいアルバイトが見つ
かったの、行ってくる
わ」
仕方なくひとり
飲みに行きた。
(さびしいな)
そこに男がきて
「お客さん、いい話
相手がいりますよ、
どうですか」
やってきたのは女房
だった。

? 何と読む

懐炉 ()
外套 ()

天声珍語

鍋の湯気で
ガラス戸が曇
った。
「もう、鍋の
季節か...
いつだったかな
アンコウ鍋を食
べに行ったのは、
ほら、
宿でつるし切り
を見せてくれた
「ええ、もう
ずいぶん前ね」
「ユカタの袖を
気にしながら
小鉢に分けて
くれた」
「まあ、よく覚
えているのね」
記憶は不思議だ
そんな昔の
そんな他愛の
ないことを
忘れなれないだ。
鍋が煮えてきた。
私は、
大粒のカキを
小鉢に移して
妻の前に置い
た。
[ススム]